

# 景気景況調査報告

(第32回)

令和5年	10～12月期	実績
令和6年	1～3月期	見通し

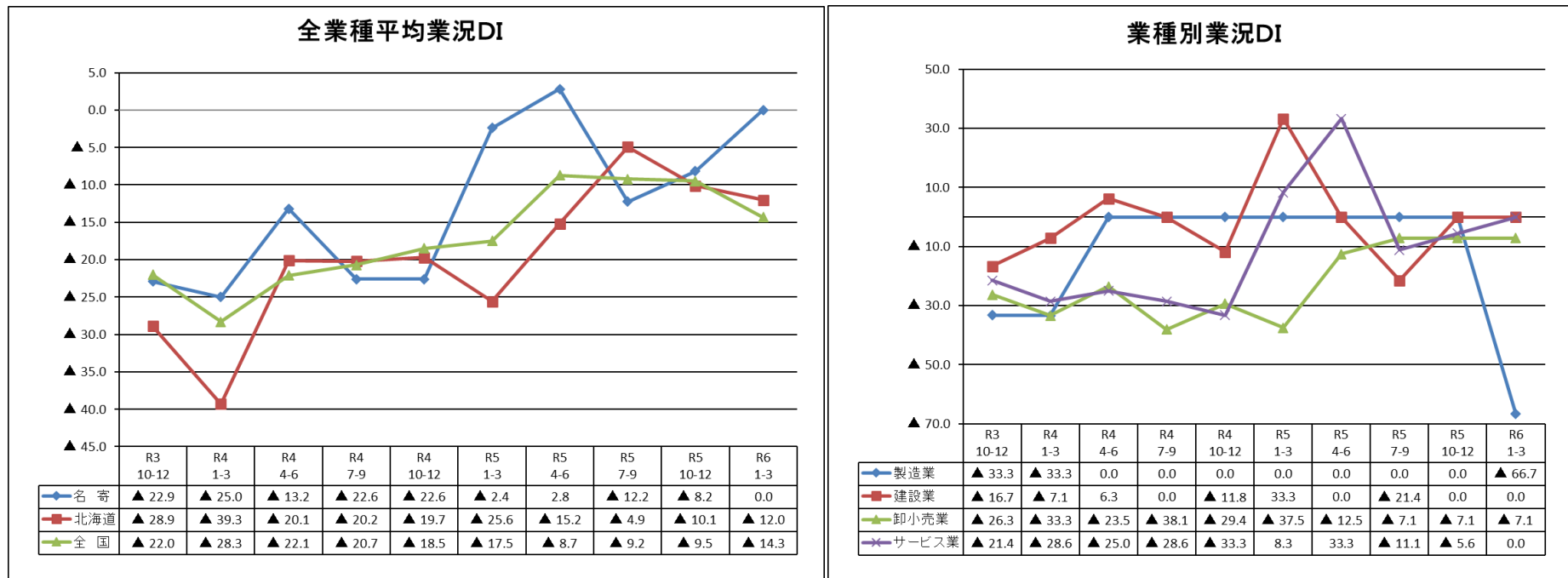
令和6年3月

名寄商工会議所

## I 調査要領

- ①調査対象期間 令和5年10～12月期の実績及び令和6年1～3月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、販売、従業員、業況、資金繰りの7項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（メール・FAX・Google Formで協力願い） 120社

## II 調査結果

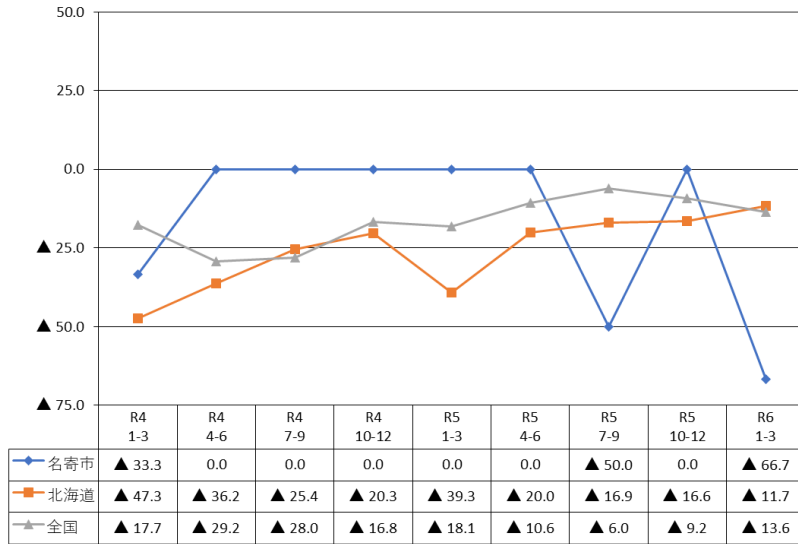


※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

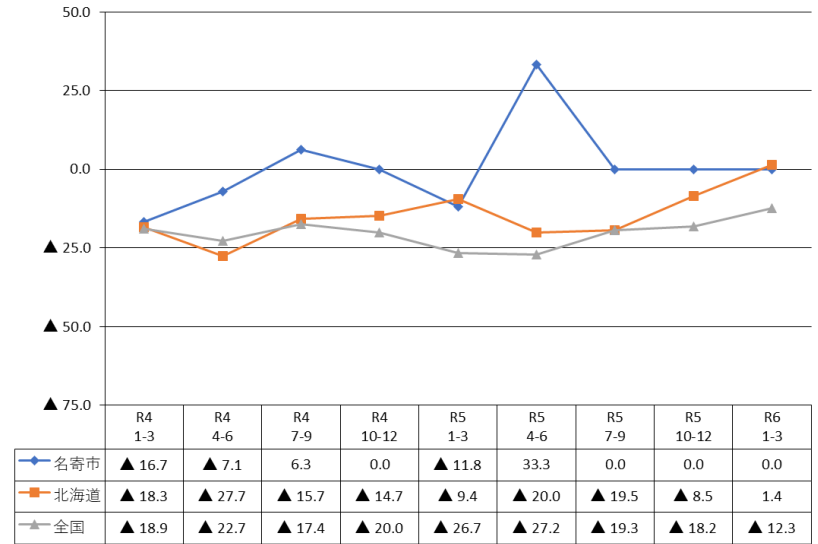
- ・ 今期、全業種平均で-8.2ポイントと前回調査と比べて4.0ポイント増加となっている。
- ・ 見通しでは今期と比べ8.2ポイント好転となり0ポイントとなっている。
- ・ 北海道（道商連調査）の景気を比較すると、今期1.9ポイント好転となり、見通しではプラス幅が拡大する見込みとなっている。
- ・ 全国（日商調査）の景気を比較すると、今期1.3ポイント好転となり、見通しでのプラス幅が拡大する見込みである。
- ・ 物価高騰や原油価格高騰等により、今後さらなる業況悪化が見込まれる。

# 業種別業況DI

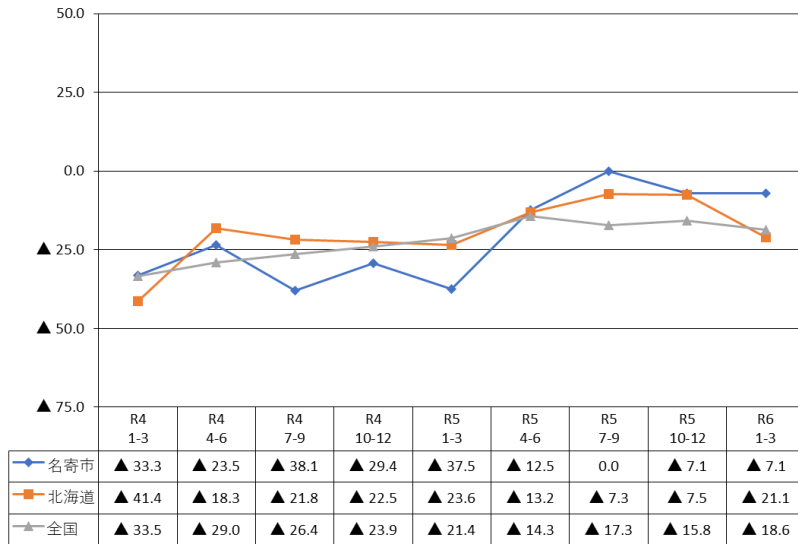
## 製造業 業況DI



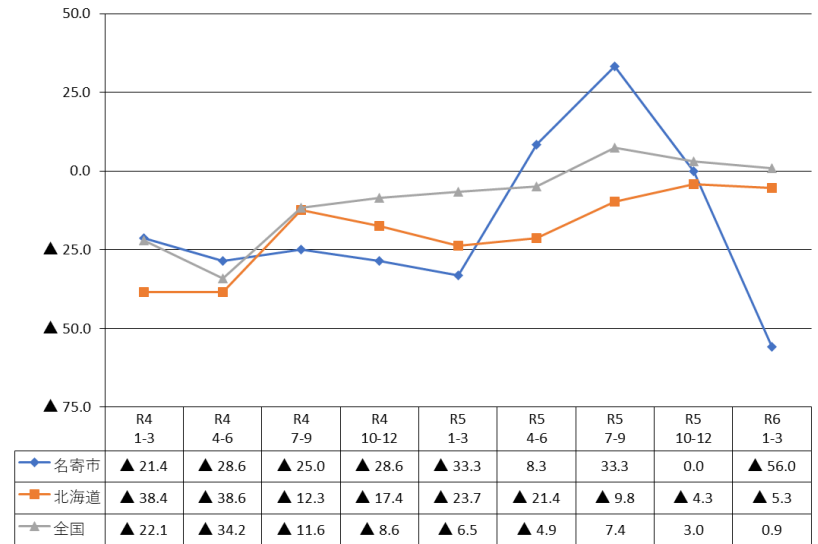
## 建設業 業況DI



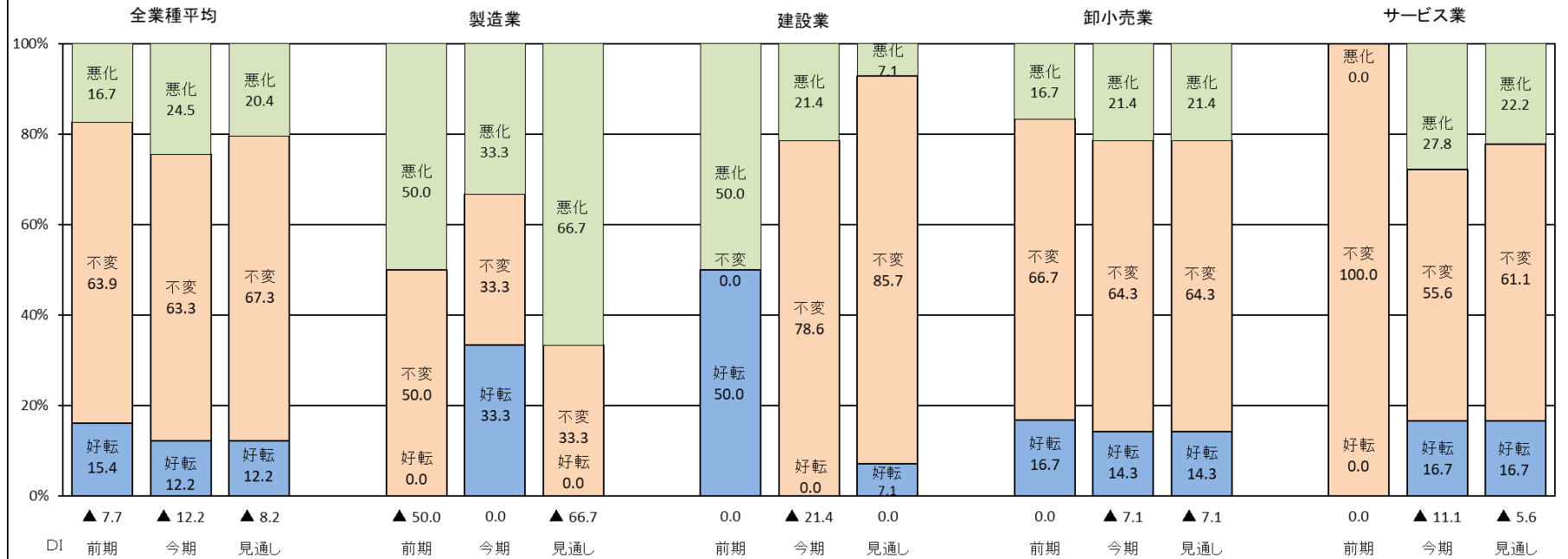
## 卸小売業 業況DI



## サービス業 業況DI



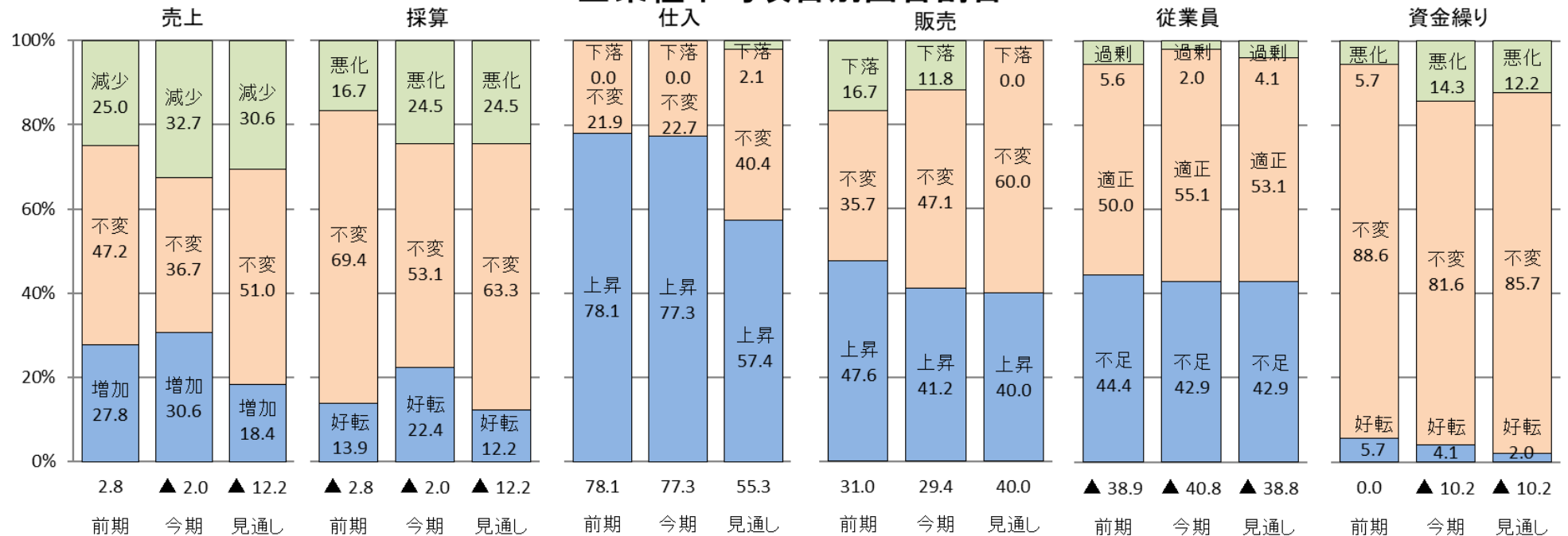
## 業種別業況回答割合



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- 製造業～** 今期は前期と比べ、「好転」が増加し「不変」・「悪化」については減少しているが、見通しでは「悪化」が半数以上を占めている。
- 建設業～** 今期は前期と比べ、「好転」・「悪化」が減少し、「不変」が大幅に増加。見通しについては「好転」が増加している。
- 卸小売業～** 今期は前期に比べ、「悪化」が7.7%増加しており、「好転」の回答は2.4%減少している。要因として、円安や原料高、物価高騰等がみられる。
- サービス業～** 今期は前期に比べ、「好転」・「悪化」増加しており、それに伴い「不変」が減少している。見通しでは今期と大幅には変わらない割合になっている。全体的に人口減少・仕入運賃増加・お客様の減少・若年層不足・求人難・仕入単価増加・原油価格高騰・物価高騰等々の要因が挙げられている。

# 全業種平均項目別回答割合



## 売上DI

[減少の要因]

今期が-2.0ポイントと前期より4.8ポイント減少している。見通しでは、10.2ポイントとさらに減少している。  
 ・資材の値上げ ・物価高 ・物流の遅延 ・メイン客層の高齢化 ・客単価減

## 採算DI

[悪化の要因]

今期-2.0ポイントと前期より0.8ポイント好転となっている。見通しでは10.2ポイント悪化となっている。  
 ・資材の高騰 ・利益率の悪化 ・メーカーの大幅値上げ ・原油価格の高騰

## 仕入DI

[上昇の要因]

今期77.3ポイントと前期より0.8ポイント下落となっている。見通しでは22.0ポイント下落となっている。  
 ・仕入運賃の増加 ・原材料の上昇

## 販売DI

[上昇の要因]

今期29.4ポイントと前期より1.6ポイント下落となっている。見通しでは10.6ポイント上昇となっている。  
 ・原材料の上昇 ・メーカー値上げ ・製造コスト上昇

## 従業員DI

[不足の要因]

今期▲40.8ポイントと前期より1.9ポイント下落となっている。見通しでは少しばかり上昇がみられ、前期と近い数字になっている。  
 ・高齢化 ・人口減少 ・若年層の不足 ・求人難 ・退職者増 ・仕事量の減少 ・職人不足

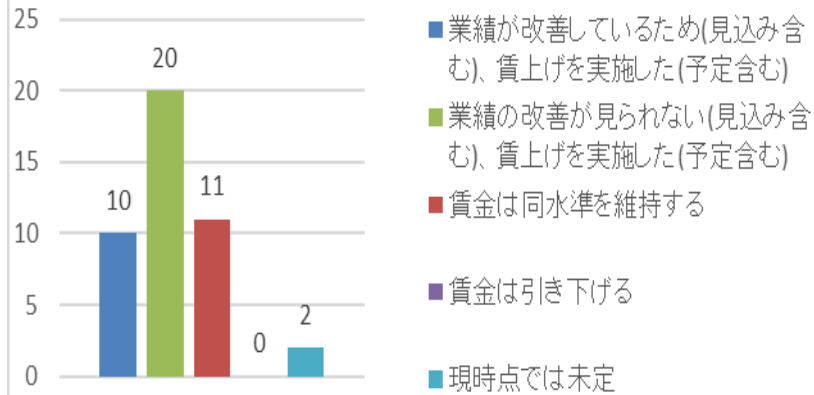
## 資金繰りDI

[悪化の原因]

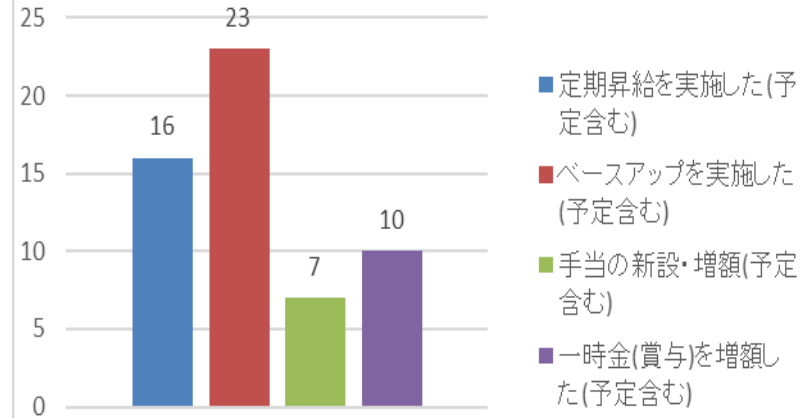
今期▲10.2ポイントと前期より10.2ポイント下落となっている。見通しでは今期と変化は見られない。  
 ・経費の増加

# 付帯調査①

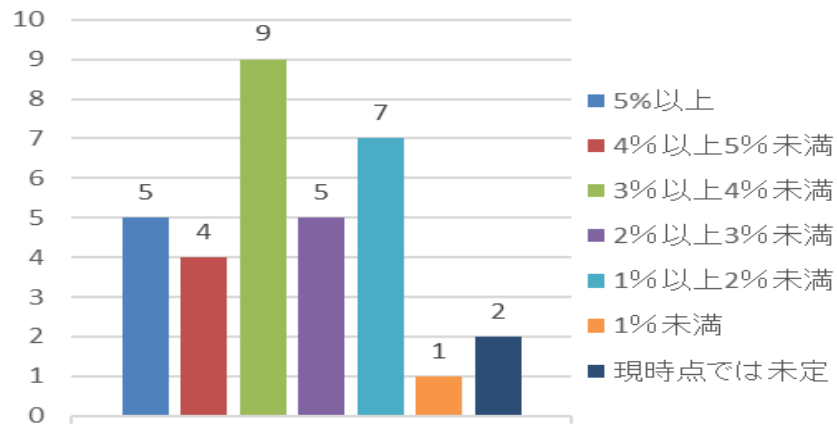
## 2023年度の賃上げ状況



## 2023年度の賃上げ内容



## 2023年度の賃上げ率



# 付帯調査②

